



2014年第二次穂別恐竜発掘報告①

計21日間 のべ283人が発掘に参加



崖をさげる工事を行い、落石の防止対策をしました。



ボランティアの方々の協力もあり、作業参加者が昨年よりも増え、発掘作業が早く進みました(9月22日;計23名発掘参加)。

2013年の第一次発掘に続いて、白亜紀末のハドロサウルス科恐竜化石の発掘を行いました。

2013年の第一次発掘では、化石を掘削している地点と崖の距離が近かったため、小さな落石があった点で危険であったこと、崖を大規模に掘削しないと残りの骨格を採集することが困難になっていました。そこで、第二次発掘の前に恐竜化石が埋没している崖を大きく掘削し、落石防止対策も行いました。

2014年の第二次発掘は9月4日から9月30日までの計21日間(雨天等中止、週1日休み)行いました。

2014年の第二次発掘では、穂別博物館の学芸職員4～5名、重機作業員1名、北海道大学の小林先生、大学院生など4名がほぼ毎日参加しました。その他に東京大学・東京学芸大学・筑波大学の学生が参加される日もありました。また、昨年引き続き北海道大学総合博物館のボランティアの方が発掘に参加されました。特にボランティアの方の参加が昨年よりも多かったこともあり、最大23名で発掘を行った日もありました。

第一次発掘の2倍にあたる約4トンの化石入り岩石を採集



約700kgの化石入り石こうジャケット（右）を採集しているところ（9月12日）。

発掘参加者が増えたことに加えて、発掘が2年目になり作業の進め方が分かっていたことや、昨年の反省や道具などの工夫をする期間があったこと、崖と発掘場所の距離が広くなり、作業しやすくなったことなどもあり、発掘する速度が第一次発掘よりもかなり早くなりました。

また、巨大な石こうジャケットを取れるようになりました。今回は最大で約700kgの化石入りの石こうジャケットを採集しました。

掘削をしていない部分に残りの化石が埋没している可能性もありますが、2014年の第二次発掘では、発掘中に見えていた骨・歯化石や骨化石入りの石灰質ノジュールをすべて採集しました。第二次発掘で採集した化石は発掘中に確認できたものだけでも、骨化石251点、遊離した歯；100点以上、その他共産化石（二枚貝類など）；689点で、化石を含む岩石の総重量は約4トンになり、それぞれ第一次発掘成果の2倍の数量になります。

学芸員 西村智弘

	2013年第一次発掘	2014年第二次発掘
作業日数	28日間	21日間
作業参加者	のべ268人	のべ283人
作業参加者 日平均	9.6人/日	13.5人/日
発掘中確認恐竜化石（骨）	150点	251点
発掘中確認恐竜化石（歯）	3点	100点以上
その他共産化石	350点	689点
採集した石こうジャケット	20個	10個
採集した化石総重量	約2トン	約4トン
採集した地層の範囲	約4x3（m）	約4x4（m）

[アクセス]



開館時間 9:30~17:00（最終入館16:30）

観覧料 個人/小~高校生：100円

大人300円

団体/小~高校生：50円

大人200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

休館日

11月 4(火) 5(水) 10(月)

17(月) 25(火) 26(水)

12月

1(月) 8(月) 15(月)

22(月) 24(水) 29(月)

31(水)

町民無料観覧日

11月3日(月・祝)
(文化の日)

11月23日(日)
(勤労感謝の日)